

エリアウェーブ

表情豊かに「コロナ」を乗り越えよう

山梨県教育委員会 峡東教育事務所 所長 霜村 文晴

掲載内容

- ・峡東教育事務所 霜村所長より
- ・峡東地域の教育活動/ イベント等の紹介
- ・峡東教育事務所からのお知らせ

令和5年5月15日 発行
 峡東教育事務所
 教育支援スタッフ (担当)
 電話 0553-20-2731
 Fax 0553-20-2733

新緑が日に日に鮮やかとなり、自然の息吹を心地よく感じる好季節となりました。東山梨合同庁舎のシンボルツリーであります榲も葉を茂らせ、御坂山塊越しに見える富士山との眺めに心が和みます。令和5年度がスタートし1ヶ月が過ぎました。皆様方には日頃より峡東教育事務所の業務に対し、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。今年度のスタッフは、総務スタッフ4名、教育支援スタッフ5名、SSW2名、アドバンスティーチャー2名、次長、副所長、所長の総勢16名(今後さらにSSW1名任用予定)です。管内3市の教育委員会をはじめ小中学校47校、県立学校6校、幼稚園・保育園・保育所56ヶ所、さらに学童クラブや児童館等と連携を図りながら業務を行って参ります。今年度もこの「エリアウェーブ」を発刊できますことをありがたく思うとともに、その名の通り峡東地域の関係機関の皆様方が、相互に連携を深めていくための一助となるよう努力を重ねる所存です。



所長 霜村 文晴 氏
 峡東教育事務所での勤務は通算7年目。芦川小学校校長を経て、昨年度1期所長として事務所に勤務。

さて、新年度に入り、通学路を歩く子どもたちがマスクを外して登校する様子を多く見かけるようになりました。その中には真新しいランドセルを背負い、顔を輝かせながらお兄さんお姉さんたちと歩く新入生の姿もありました。ご案内の通り、国が正式に5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけを2類から5類に移行することに伴い、「法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組み」から、「個人の選択を尊重し、個人の自主的な取組をベースとした仕組み」になります。文科省が4月28日に発出した『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル(2023.5.8～)』にも、「換気の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「咳エチケット」を行い、教育活動を継続することを前提とした上で、時

次の感染状況に応じた対策を講じることが重要であると記されました。併せて、マスクの取扱いとして、「学校教育活動においては、児童生徒及び教職員に対して、マスクの着用を求めないことが基本となる」と記載されました。

ところで、生後すぐの赤ちゃんには、感情や表情がまだ身についていないといわれています。突然ニコツしたり、大人の表情のまねしたりすることもあります。これは赤ちゃんが自分の意思をもって模倣しているわけではなく「新生児模倣」と呼ばれるもので、生後2カ月頃までしか見られないそうです。2カ月を過ぎると、脳も発達し、自分の意思で模倣をはじめ、あやしているときに笑顔を見せるようになります。模倣は、赤ちゃんがこれから必要となる様々な動作・言葉などを身につける基礎となるとともに、脳や体の発達を促すためのコミュニケーションの一つだと考えられています。このことは、乳幼児がまわりの人の表情を見たり自分で動作を模倣したりを繰り返しながら、自然と感情や表情を身につけていることを表すとともに、周りの大人が表情豊かに過ごすことで、感情と表情との関係をより理解しやすくなることを表していると思います。

教師の仕事は、多様な個性をもった子どもの良さを見出し、それを伸ばす仕事です。授業において、子ども個々の表情を見取りながら、思考をさらに促す手立てや対話を深める策を講じます。また、子どもも教師の表情を敏感に読み取っています。子どもの表情は教師を映す鏡ともいえます。教師の明るい表情と澁刺とした振る舞いは、子どもたちの感情を揺さぶり、子どもらしい伸び伸びとした言動を促すとともに健全な心の成長にも繋がると考えます。第5類に移行する今日、感染防止対策を講じながら可能な限りお互いの豊かな表情を見せ合う中で教育活動を継続し、「コロナ」を乗り越えていくことを願ってやみません。我々教育事務所職員も、このことを後押しできるよう関係機関の皆様と顔と顔を合わせながら業務に邁進していきますので、本年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

「いろんなサクラを見てみよう！&サクラってなんだろう？」

山梨県森林公園 金川の森



みんなで協力しながら探します

4月1・2日に満開のサクラのもとで2つのプログラムを行いました。参加者一人一人に仕切り付きのボックスを配ってサクラや花を採取してもらいました。色ごと・花の種類ごとなど、分け方や入れ方は自由に採取や観察を楽しみました。（※金川の森では都市公園条例に基づき、植物の採取は禁止されていますが、本プログラムでは特別に採取を許可）この日はソメイヨシノやヒヨドリサクラ、カンヒザクラなど約10種類のサク



きれいに整頓できました！

クラの花が観察できました。その中でも緑色の花を咲かせるギョイコウ（サクラ）には参加者は驚きの声をあげていました。サクラというとピンクや紅色、白色が思い浮かびますが、緑色の花は非常に珍しいものです。サクラの



満開のサクラと参加者

他にもタンポポやヒメオドリコソウ、ナズナ、タムシバ、ミツマタなどの花を見つけながら、採取したり香りをかぐなどして楽しみました。幼児向け自然体験教室『いろんなサクラを見てみよう！』には子ども6人と大人4人が参加し、タンポポやきのこ・つくし・サクラなどを箱いっぱい集めることができました。生きもの博士養成講座（しょくぶつ編）『サクラってなんだろう？～サクラの花～』には子ども2人、大人5人が参加し、サクラにヒヨドリがやってきている様子を観察しました。「鳥や昆虫はサクラにやってくるけれど、どこの部分を食べて来ているんだろう？」ということで、サクラの蜜を実際になめてみると、「甘い😊」「苦い😞」などの様々な反応がありました。日常では味わえない体験をすることで参加者はみんな笑顔だったのが印象的でした。

「新たなコミュニティ・スクールが始動」～地域との連携～

山梨県立笛吹高等学校



設置通知書の交付。気が引き締められます

コミュニティ・スクールは、学校・保護者・地域の方々から知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を推進するための仕組みです。

令和5年度から笛吹高校はコミュニティ・スクールになりました。（峡東地域の県立学校では、昨年度の県立ろう学校に続いて2校目の指定）笛吹高校のスクールポリシーには何度も「地域」という言葉が登場します。愛情あふれる環境で育った生徒たち



多様な分野のメンバーがバックアップ

が、いずれは地域を牽引するリーダーとして地域に貢献できる人材に成長できるよう、多様な分野で活躍する大人たちが本気で関わります。

「みんなで味噌づくり体験」

～秋には美味しいお味噌が完成します～

甲州市立松里保育所・奥野田保育所・東雲保育所・大和保育所

甲州市立の四保育所（松里・奥野田・東雲・大和）では、例年4月に味噌づくり体験を行っています。今回は4月22日に松里保育所で行われた松里・奥野田共同の味噌づくり体験取材しました。はじめに講師の五味洋子さんから味噌づくりについての説明があり、いよいよ体験がスタート。子どもたちは「混ぜる→こねる→団子を作る→樽に投げ込む」の作業に夢中で取り組みます。各所で聞こえる「おいしくなあれ！」の声のもと、約1時間での作業が完了。11月頃に行う「味噌開き」では、みんなで味噌汁や五平餅を楽しむ予定です。



丁寧に麴をほぐしていきます



お団子づくりはお手の物です

「ものづくりと環境との関係」～多様な条件を組み合わせる～

山梨市立加納岩小学校

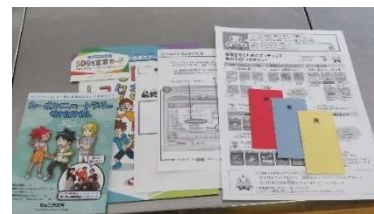


クイズで全問正解するのはなかなか難しい



目標を達成するために試行錯誤する

2月8日に加納岩小学校の5年生を対象に「トヨタくるままるわかり教室」が行われました。まず資料映像やクイズを通して、車と環境との関係や車の基礎知識について学びました。続いてオンライン上で開発と環境の関係を学ぶことができる「カー&エコカーゲーム」を体験しました。多くの条件を考慮しながら、目標の利益を生み出すことはなかなか大変なことです。児童は試行錯誤を繰り返す中で、環境に配慮しながら「ものづくりには何が必要なのか」を学んでいきます。小さな変化が環境に大きく影響することが分ると、前回とは違う方法を試してみます。最後はワークショップツールを使って、講義やゲームの中で考えたことや感じたことを発表しました。この中から将来の自動車産業を担う人材が生まれるかもしれません。



本日の教材。色紙はクイズで使用

「桃花ダイスキマーケット」～令和5年度は5月に開催予定～

県立高等支援学校桃花台学園

令和4年度最後となる桃花ダイスキマーケットが2月3日に開催されました。コロナ禍のため感染症対策をしながらの実施となりましたが、地域・保護者を合わせて40人余りが来校しました。食品加工コースでは干支にちなんだ「ウサギパン」、バレンタインデーに関連した「ハートチョコパン」、新作の「くるとイチゴ」などを販売しました。桃カフェでは本校のイメージキャラクターこももが載ったカレンダーを作成しました。お客様にくじを引いてもらい、特賞の方には「こももカレンダー」をプレゼントしました。農業生産コースでは本校の大根・柿を加工した「切り干し大根」「干し柿」を販売しました。また、環境メンテナンスコースは、会場の清掃と駐車場係を担当しました。来校者のアンケートでは「生徒の接客に好感が持てました。いつも楽しみにしています。」「パンや野菜をいつも楽しみにしています。」「切り干し大根が甘くておいしかったです。」などの感想をいただきました。令和5年度の初回の桃花ダイスキマーケットは5月を予定しています。生徒が丹精こめてつくった野菜やパンなどを用意しております。 (詳細は笛吹市広報、桃花台学園HPでご確認ください)



自慢の野菜をご賞味あれ



新作パンも登場しました

「スポーツチャンバラ体験」～一瞬の隙を狙え～

甲州市アドベンチャークラブ

甲州市アドベンチャークラブは、積極的に物事を考え、勇気をもってチャレンジする冒険心、社会を切り拓く開拓精神、やさしさと思いやりをもって社会や人々に貢献する奉仕の心を育てながら、子どもたちの生きる力の育成を目的に、年間を通して、毎月募集制で活動しています。2月25日に甲州市塩山ふれあい館において、「スポーツチャンバラ体験」が行われました。スポーツチャンバラは、打たれて痛みを知り、負けたことを素直に認め、潔く相手を讃え、自らが自分に問う「自心審判」です。まずは基本的な動作を確認して、いよいよ実践となります。子どもたちは最初躊躇していましたが、次第に打つか打たれるかのスピードとタイミングの「真剣勝負」の楽しさを感じるようになっていきます。新しい経験を通じて、自分自身の幅が広がっていく。体験後の子どもたちのキラキラした目がそれを物語っていました。



まずは剣の握り方から教わります



相手の動きを予想しながら



踏み込むためには勇気が必要

「やまなし生涯学習フェスティバル」～みつけた！未来にきらめくあなたとわたし～

山梨市・山梨市教育委員会・山梨市生涯学習推進協議会

2月25・26日に山梨市民会館において「やまなし生涯学習フェスティバル」が行われました。内容はステージ発表・展示・体験教室・出店など多岐にわたります。ステージで行われた子どもたちの笑顔あふれるパフォーマンスに対して、会場からは自然と拍手が沸きあがりました。異年齢が集う場所で発表をする機会は非常に貴重なものです。現代社会においては多様な経験や体験が求められます。幅広い世代の人々が集まり、語り合うことでフェスティバルの目的である「まなぶ・つなぐ・いかす」を体現化することができた楽しい2日間となりました。



つまみ細工体験教室



ヴァイオリン体験教室



山梨市スポーツ推進委員会



「軽スポーツ・ニュースポーツ体験」



山梨市社会教育委員の会
「砂糖の量を測定してみよう」



各団体のステージ発表より
「ダンス・歌唱・フラメンコ等」



全員で決めのポーズ！！



いよいよ発表開始
緊張感が伝わってきます

「春を感じるひととき」～甲州市えんざん桃源郷ひな飾りと桃の花まつり～



各時代の華やかなひな人形が並ぶ

春を告げる恒例イベント「甲州市えんざん桃源郷ひな飾りと桃の花まつり」が甲州市内9ヶ所で行われました。会場にはいろいろな時代のお雛様やつるし飾りが展示され、来場者は華やかな空間を楽しんでいました。つるし飾りと言えば静岡県の新潟県が有名ですが、新潟県から甲州市に転居された方が作成方法を伝えた縁もあり、甲州独自のつるし飾り文化が生まれたとのこと。また、甲州市役所のロビーには市内の保育園の子どもたちが



子どもたちの力作。立派な作品です

作ったひな人形が展示され、元気あふれる力作は来庁した人々の心を和ませてくれました。

「あおぞらお話し会」～芝生の上でみんなが笑顔～ 地域子育て支援センターきっずみさか



青空のもとで「お話し会」スタート

3月16日にみさか桃源郷公園において、「あおぞらお話し会」が行われました。当日は子どもと保護者あわせて約20人が参加しました。絵本の読み聞かせから始まって、おかあさんといっしょで有名な「バスに乗って」のリズムに合わせて子どもを膝に乗せながら運転者ごっこ、昔ながらの紙芝居、スタッフが折り紙で作ったぞうさんを探す宝探しなど、盛りだくさんの内容でした。子どもたちは保護者の膝に座りながら、安心感もあってか終始笑顔だったのが印象的でした。青空が広がる豊かな自然のもとで、親子と一緒に過ごすことができた大切な時間。普段とは違うこの経験は、子どもたちの心の奥底にあたたかい何かを残してくれたはず。です。



紙芝居のお手伝いをします



歌詞にあわせてゴロンゴロン

「生涯学び続けることの大切さ」～山梨ことぶき勸学院（卒業式・入学式）～

山梨ことぶき勸学院では、今後求められる新たなシニアのライフスタイルを創造するため「生きがいの創出」「新たな縁・絆の構築」「地域に貢献できる人材の育成」「健康増進」の実現を目指しています。

令和4年度卒業式（3月14日・YCC 県民文化ホール）



教室担当の先生方とも今日でお別れ

令和4年度は感染対策を施した上で、すべての講座を実施することができました。コロナ急拡大の影響で、残念ながら秋の勸学院祭は中止となりましたが、参集型のグラウンドゴルフ大会（小瀬スポーツ公園）、古典芸能講座（双葉ふれあい館）、活動実践発表会（甲州市民文化会館）は無事実施することができました。講座の実施さえ危ぶまれた2年間を過ごした学生たち。様々な思いを胸に、慣れ親しんだ学び舎を巣立っていきました。



県内6教室の代表生徒たち

令和5年度入学式（4月18日・YCC 県民文化ホール）



新たなメンバーを加えてのスタート

昨年は中止になった入学式ですが、令和5年度は多くの来賓を迎える中、YCC文化ホールにおいて実施することができました。甲府AB教室には新たに71名の生徒が入学しました。ことぶき勸学院の特徴は「仲間とともに楽しみながら学ぶ講座」「地域活動や研究を深めるカリキュラム」「安心・安全な学びの場」であること。『おはようございます！』の挨拶から始まる2年間の学生生活。新たな環境で自らの成長を実感できる大切な時間となるはずです。



在校生代表として甲府B教室の渡邊一雄さんが「歓迎のこたば」を述べる

「音楽でつながっていく♪」～ぬくもり音楽会～ 塩山愛育園・塩山北中学校



元気いっぱいの歌声でみんな笑顔 (*^o^*)

4月8日に送心ぬくもりホールにおいて「ぬくもり音楽会」が行われ、今回は塩山愛育園と塩山北中学校が合唱を披露しました。まずは塩山愛育園園児による合唱から音楽会がスタート。多くの来場者の前に園児たちは若干緊張していましたが、笑顔と元気いっぱい歌います。かわいい歌声がホール全体に響き渡り、来場者は自然と笑顔になっていきました。続いては塩山北中学校による合唱です。塩山北中の合唱部は季節部として活動して



後半パートでは手話でも思いを伝える



会場から万感の拍手が送られました

た合唱を披露してくれました。アンコールで披露された曲の歌詞にある『歩いて行く道はきっとちがうけれど、同じ空を見上げているから・・・』のフレーズに、新年度になり新たな一歩を踏み出した多くの人々が共感したはずです。



山梨県教育委員会 峡東教育事務所 地域教育推進事業について

【主な業務】

- ① 峡東地域教育推進連絡協議会の運営
- ② 地域教育情報誌「エリアウェーブ」の発行
- ③ 保幼・小・中・高・特支・大学の連携推進
- ④ 成人教育の推進（山梨ことぶき勸学院他）
- ⑤ 子育て・連携・人権に関する講演会の開催
- ⑥ 青少年教育の推進（やまなし少年海洋道中他）
- ⑦ 異校種間授業参観・県立学校出前授業の推進
- ⑧ いきいき教育地域人材活用推進事業
- ⑨ ふるさと山梨郷土学習コンクール
- ⑩ SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）

【スタッフ紹介】

○ 教育支援スタッフ（担当）

主幹・指導主事 立川 慶樹（たちかわ けいき） & 主幹・指導主事 藤森 一樹（ふじもり かずき）

これまでの活動を引き継ぎながら「家庭・地域・学校の繋がり」を大切にしたいと取り組んでいきたいと考えています。指導主事は都道府県及び市町村の教育委員会に置かれる専門的職員ですので、地域教育に関わるご相談等があればお声がけください。みなさまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

○ スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）

深澤 真澄 & 佐藤 美弥（残り1名は決定次第連絡）

管内の児童・生徒の問題解決を支援するため、スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）がサポートいたします。何か悩みごと等がありましたら、一人で悩まずお気軽にご相談ください。

令和5年度 峡東地域教育推進連絡協議会 事業計画（案）

1 『総会』（役員のみ参加・依頼文書を発送）

日時 令和5年6月29日（木） 午後2時～2時40分
会場 甲州市民文化会館 ホール
内容 峡地連の組織・事業報告・事業計画・会則・その他

『子育て講演会』への申込は
下記QR またはリンクから可能です。



<https://forms.office.com/r/B1kf0cduyn>

2 『子育て講演会』（甲州市教育委員会共催）

日時 令和5年6月29日（木） 午後3時～5時（総会終了後）
会場 甲州市民文化会館 ホール
内容 「あなたの子育て、がんばり過ぎていませんか？～セルフチェックで振り返ってみよう～」
講師 山梨大学教育学部教授・山梨大学教育学部附属幼稚園園長 若本純子 氏

3 『保幼・小・中連携セミナー』（笛吹市教育委員会共催）

日時 令和5年8月22日（火） 午後3時～5時
会場 いちのみや桃の里ふれあい文化館 多目的ホール
内容 「子どもたちの心をどう育てるか～愛着障害と発達障害の理解とその支援～」
講師 公認心理師 内藤雅人 氏

4 『人権のための講演会』（山梨市教育委員会共催）

日時 令和5年11月16日（木） 午後3時～5時
会場 山梨市民会館 ホール
内容 「こどものミカタ～不登校を題材に、味方になりたい私のミカタ～」
講師 峡東保健福祉事務所地域保健課副主査 芦澤茂樹 氏

5 『実務者会』（実務者のみ参加・依頼文書を発送）

日時 令和6年2月2日（金） 午後3時30分～4時30分
会場 東山梨合同庁舎 103会議室
内容 峡地連活動総括と来年度の計画について

令和4年度はすべての講演会・セミナーにおいて、9割以上の方から「とてもよかった」「よかった」との評価をいただきました。
本年度も多くの方々のご参加をお待ちしております。

☒☒☒☒☒☒☒ 峡東教育事務所からのお知らせ ☒☒☒☒☒☒☒

- ◆皆様のご協力により「異校種間授業参観可能日一覧表」「県立学校出前授業一覧表」が完成しました。
- ◆地域情報紙エリアウェーブを通じて、「他校種の情報を知ることができる」「連携のきっかけになる」とのお声を寄せていただいております。特別なイベントである必要はありませんので、お気軽に情報をお寄せください。（記事として峡東地域で紹介させていただきます。現在約300カ所に配布中）

☎0553-20-2731（担当・直通）

- ◆エリアウェーブのpdf版は「峡東教育事務所」のホームページからダウンロード可能です。